

募集要項

平成25年度



鳴門教育大学

生徒指導と教育相談（教育臨床X1） ～荒れ・非行・いじめへの対応を考える～

◆趣旨

近年，“いじめ”や“体罰”が大きな社会問題となり、教育関係者にはその根絶を求める厳しい眼差しが向けられています。本講座では、児童生徒の荒れ・非行・いじめなどの少年期・青年期の子どもたちの問題行動について、「あつてはならない」ではなく「あつたことにかかわるか」という観点に立ってその意味を考察し、子どもと子ども、大人（教師・親）と子どもの関係在り方を捉え直し，“優しくて厳しい大人”として子どもと向き合う意味を考えていきます。

◆日時・内容・講師

| 日 時 | 講義等の内容 | 担当講師 |
|---|--|--|
| 8月20日（火） 10：00～12：00 13：30～15：00 15：00～16：30 | 講義：荒れ・いじめを考える他 講義：非行を考える他 演習：問題行動への教師のかかわり | 鳴門教育大学 准教授 阿形 恒秀 准教授 佐藤 亨 阿形恒秀・佐藤 亨 |

◆実施場所 大阪府教育会館たかつガーデン（大阪府高槻市野見町2-33）
阪急京都線「高槻駅」から（徒歩）約5分，JR線「高槻駅」から（徒歩）約12分
TEL：072-671-1061

◆受講対象者 現職教員

◆受講料 2,000円

◆募集定員 20人（先着順に受け付けます。）

◆受付期間 平成25年8月7日（水）まで

◆申込方法 ○受講を希望される方は、電話・FAX・E-mail等で下記申込先へお申込みください。
○受講料の納入方法については、別途通知します。
○受講料納入後のキャンセルは、受講料をお返しいたしませんので、ご了承ください。
○受付期間を過ぎても受講できる場合がありますので、上記の受付期間を過ぎて申込希望の方は、お問い合わせください。

◆申込先・問合せ先 〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748番地
鳴門教育大学社会連携課社会連携チーム
(TEL 088-687-6101・6102)，(FAX 088-687-6100)
(E-mail：kk.chiiki@jim.naruto-u.ac.jp)



切り取り線

平成25年度鳴門教育大学公開講座申込書 【生徒指導と教育相談（教育臨床X1）～荒れ・非行・いじめへの対応を考える～】

| | | | | | |
|-------------|---|------|---|----|-----|
| ふりがな 氏 名 | | 年 齢 | 歳 | 性別 | 男・女 |
| 住 所 | 〒 | 電話番号 | | | |
| 職 業 | | 連絡先等 | | | |

鳴門教育大学大学院の案内

渦潮で名高い鳴門の地に、美しいキャンパス。環境に恵まれ、設備の整った大学です。また、高速道路の整備により、大阪（梅田・難波）から約2時間で行けます。本学は、1981年に、日本の教育の中核となる「新構想の国立大学」として船出しました。以来、現在に至るまで、実践を中心に据えた多様な教育活動を展開してきています。

☆ 平成24年度大学院入試は、以下のとおりです。お問い合わせは、下記の入試課へご連絡ください。

【前期入試】平成25年 8月22日（木）

【中期入試】平成25年11月30日（土）

【後期入試】平成26年 3月 8日（土）

※鳴門教育大学入試課

電話：088-687-6131 FAX：088-687-6138

ホームページ（URL：<http://www.naruto-u.ac.jp/menu/entrance.html>）

☆ 大学院修学休業制度を利用し本学に進学される現職教員の方に対し、本学独自の「授業料特別免除制度」があります。詳しくは、下記の学生課へご連絡ください。

※ 鳴門教育大学総学生課 学生生活支援チーム

電話 088-687-6120 e-mail (kg.gakusei@jim.naruto-u.ac.jp)

臨床心理士養成コース

本コースのスタッフやカリキュラムの充実度は、全国の臨床心理士指定大学院の中でもトップクラスであると自負しています。多様な領域で活躍できる高度な実践的力量を有する臨床心理士の育成を目指しています。

専任の大学教員は心理臨床や精神科臨床の経験が豊富です。教員も院生も自分の殻に閉じこもるようなタコソボ型になることを極力避け、アットホームな雰囲気教育研究に励んでいます。各教員が得意としたり関心がある心理療法の技法や領域は様々です。しかし、これらを授業で取り上げはしますが、決して院生に押しつけるようなことはしていません。むしろ、臨床心理学と精神医学の基礎知識、ならびに共感的理解に努める態度や感性、そして人間関係を積極的に築いていく社会性を院生がいかに身につけるかを重視しています。

教職大学院

2008年に、教職大学院として本学に「高度学校教育実践専攻」を設置しました。2013年からは現職教員を対象にした教職実践力高度化コースと学卒者を対象とした教員養成特別コースの2コースに再編されました。特色は、学校経営、カリキュラムや授業の開発、生徒指導・教育相談などの幅広い課題に対する解決力を習得するとともに、個々のキャリアに応じたカリキュラムで学ぶことができ、将来の学校での立場や役割を念頭において個々の指導力や自己教育力を高めることができます。

講師紹介

阿形 恒秀

（あがたつねひで）

鳴門教育大学大学院准教授

日本生徒指導学会理事

専門分野 教育臨床



大阪の高校教員（教諭・教頭・指導主事・校長）として、30年間、高校教育に携わってきた経験を踏まえて、学生・院生の指導にあたっています。

「優しくて厳しい先生」「別れるために深く出会う」「同じ方向を見る」等をキーワードに、生徒指導・教育相談等における「生徒の問題への教師の関与の在り方」を研究しています。

佐藤 亨

（さとうとある）

鳴門教育大学大学院准教授

臨床心理士

専門分野 非行臨床



非行臨床を専門とし、

15年間にわたり、少年鑑別所や刑務所で勤務し、多数の非行少年や犯罪者と接してきました。大学に勤務する今も彼らとの関わりを続けています。その中で感じ、学んだことを学生をはじめとする幅広い職種・年齢の人々に伝え続けています。